

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2015
vol.213

毎月1日発行

2月号

杜の伝言板 ゆるる

月刊



特集

●市民の出番 ～見守りから支え合いへ～
(NPO福祉ねっと宮城)

●楽しく健康づくり レッツ・ウォーキング!
(NPO法人日本ノルディックフィットネス協会)

トピックス

平成26年度みやぎ社会貢献大賞
シャロームの会 地道な活動評価され、三度目の正直

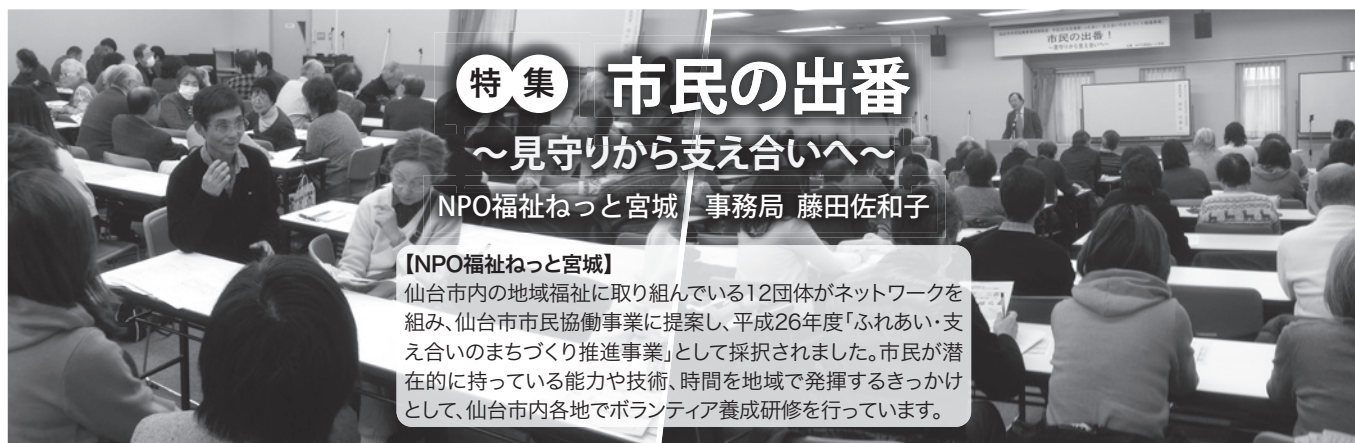
●世界が注目する市民参加の国連防災世界会議

みやぎNPOプラザからのお知らせ

新入居団体紹介
IT支援の輪を広げるために NPO法人イー・エルダー東北支部

杜の伝言板ゆるる
ホームページ





特集 市民の出番

～見守りから支え合いへ～

NPO福祉ねっと宮城 事務局 藤田佐和子

【NPO福祉ねっと宮城】

仙台市内の地域福祉に取り組んでいる12団体がネットワークを組み、仙台市市民協働事業に提案し、平成26年度「ふれあい・支え合いのまちづくり推進事業」として採択されました。市民が潜在的に持っている能力や技術、時間を地域で発揮するきっかけとして、仙台市内各地でボランティア養成研修を行っています。

仙台市内の地域福祉に取り組んでいる十二団体がネットワークを組むNPO福祉ねっと宮城（略：福祉ねっと）。市民が潜在的に持っている能力や技術、時間を地域で発揮するきっかけとして、仙台市内各地でボランティア養成研修を行っています。一昨年、平成二十六年年度仙台市市民協働事業に、地域で高齢者が安心して暮らせるよう地域福祉に取り組む多様な団体が連携して『支え合い』のまちづくりを目指す「ふれあい・支え合いのまちづくり推進事業」を提案し、採択されました。

福祉ねっとは、協働事業の一環で、一月十六日、仙台市市民活動サポートセンターで、ボランティア講座を開催しました。基調講演は、認定NPO法人市民福祉団体全国協議会（略：市民協）専務理事の田中尚輝さんです。

市民協は、介護保険等の制度及び制度外サービス団体の約一三〇〇団体が加盟している日本最大のNPO支援団体です。介護や福祉を市民活動として推進することによって、市民が参画する福祉社会を形成しようとしています。田中さんはNPO界の「フーテンの寅さん」を自認するほど日本全国を股にかけ、NPOや市民

に向けて「社会参加と地域づくりを！」と発破をかけています。これから田中さんの基調講演のお話をご紹介します。

●●● 介護保険は改正が改悪か？ ●●●

介護保険開始時のシステムが最初から間違っていた。それは、保険料を負担する国民の反対を恐れ、介護が必要になったら誰でも利用できる対象者の枠を広げたこと（要支援一・二、介護一・二・三・四・五の七段階）。しかし財政負担が膨大になり、今になって介護保険をスリム化（介護一・二・三・四・五）しようとしている。五年後に改定する時は、介護三以上でないと利用できなくなる覚悟が必要。なぜなら、二〇二五年には団塊世代が七十五歳以上になり、要介護率が高くなつて保険料負担も多くなる。再度の改正（切り捨て）が考えられるから。介護保険事業者から見ると、改正で要支援一、二のお客がなくなり、五年後の改定時には介護一、二のお客がなくなるとのこと。一方、市民の側からすると、要支援二でデイサービスの入浴を利用していた人が利用できなくなり、近所の入浴施設のないボランティア団体等の

デイに通うしかなくなる。（それでも通いの場が近くにあればラッキーである）

とはいえ、二〇〇〇年の介護保険制度前の人間として尊重されない措置の時代から、自分の身体状況に合わせてサービス等を選択できるようになったのだから、介護保険そのものには賛成である。ただし今回の改正にあたり、厚労省は制度が間違っていたことを認めたとうえで、制度で出来ない部分をボランティアでお願いしますというべきである。今、全国で約五〇〇万人の一人暮らし高齢者がいる。せっかくボランティアの助け合い活動が認められたチャンスだから、高齢者のために私たちのやることをやるう！助け合い活動がなければ自分達でサービスをにつくって支え合おう！

●●● 改正（新しい地域支援事業）のポイント ●●●

今、全国ベースでみると一番注目したいのは、通いの場（たまり場、コミュニティ・カフェ、サロン等）。なぜなら、地域コミュニティをつくるための「出会いの場」をつくるのが、助け合いが生まれるための一番最初のきっかけ

になってくるから。誰かがつくるのを待つではなく、自分がつくるとか、応援しないと駄目。つくったら補助金が出るというのが今回の新しい地域支援事業である。二十七年政府予算の資料を見ると、拠点の改造費や家賃の補助。ボランティアしたら少しお金を出して、町内会、ボランティア団体、NPOがいるいるなサービスを。くっていくことを応援している。制度外サービス(支え合い活動)は自治体の責任になっている。

もう一つのポイントは、自治体が協議体(多様な団体が集まって協議する)とコーディネーターをつくるということ。中学校区に一人コーディネーターを配置。通いの場をつくり、地域の困っている人と支援する人をつなぐ役割をする。この新地域支援事業には厚労省から全体で約五〇〇〇億のお金がおりにることになっているが、問題は自治体任せになっていること。「事業」というのは自治体の判断次第なので、やってもやらなくてもどちらでも良いことになっている。自治体が行うというのか、或いは市民が要望しないと、何も変わらない。つまり、地域の町内会やボランティア団体、NPOなどの市民の出番である。自分たち

市民協の田中尚輝さん



が必要と思うサービスを。サービスをつくるチャンスだから、自分たちが住んでいる地域に、見守りや居場所、困ったときはちよつと助けてと言える支え合い活動のようなサービスを。くっていい。協議体やコーディネーターはそれをサポートしていくシステムである。

そういう意味で制度論から言えば改悪だが、市民参加という視点で考えると、今回の改正はこれまでの法体系になかった価値観が入ってきていると思うので改正である。とにかく市民側の工夫・力量次第である。

●●● 市民が活動する時代 ●●●

田中さんの講演の後には、会場の参加者からの質問に答えています。で、いくつか紹介します。

◆何か新しく活動を始めた事例とは？

「狭山市にある工場に勤めていたOB(退職者)が、NPO法人を立ち上げ移動サービスを始めた」「神奈川県のあるグループが去年の十月、自治体の支援を得

て三十五坪の『通いの場』をつくった。ランチ三〇〇円で盛況の様。シアのボランティアが活動している」「山梨県では、外には出かけられないが家の中では動けるといふ一人暮らしの高齢者の家を、一週間に一回近所の人が集まるコミュニティ・カフェにした」などを紹介しました。

◆社会奉仕をしながら収入を得ていこうと活動しているが、どうやって人を集めるか？活動を継続するための工夫などを教えて。

「ポイントは中心メンバーが喜んで楽しんでやること。二〇〇人全体を持ち上げるのは無理。リーダー五、六人の目がキラキラしている。人は寄って来る。超利己主義(自分をとことん大事にし、自分の生き方を素晴らしいとする)になると、周辺の人々たちを楽しくすることになり結果的に人が集まる。」

◆どんなボランティアがありますか？

「何があるか？ではなく、自分が何をしているのが楽しいか、何をしたいか？を考えて体験してみる。活動している福祉ねつとの各団体に二、三日ずつ行ってみるのいいのではないか？」この後、田中さんは、「介護保

険制度の改正により自治体が応援団になるので、自主的、自発的に考え、何かできないかと考え、工夫して活動することが大切です。『市民が活躍する時代』なんです。長生きして頑張ろう！』と呼びかけました。

超高齢社会を目前にして、介護保険があるから大丈夫とは言えなくなっています。出来るだけ健康でいられるように食事や運動に気を配り(自助)、周りに困った人がいれば手を差し伸べて(互助)、将来介護が必要になる時のために保険料を支払う(共助)社会を、必要に迫られて再編成していくしかありません。

私たち市民が、いま動かないと、困るのは私たち！ならば、『市民の出番』と捉えて、将来の自分のためにも、仲間と一緒に見守りや支え合い活動を始めましょう。『NPO福祉ねつと宮城』はそのお手伝いをします。

【NPO福祉ねつと宮城 参加団体】

- ・ NPO法人あかねグループ
- ・ 認定NPO法人グループゆう
- ・ NPO法人ナルク宮城「けやきの会」
- ・ NPO法人WACまごころサービスみやぎ
- ・ 地域生活支援オレンジねつと
- ・ 賢和会 男の台所サロン
- ・ NPO法人おひさまくらぶ
- ・ NPO法人ゆうあんどあい
- ・ NPO法人FOR YOUにこにこの家
- ・ NPO法人あなただの街の三河やさん
- ・ 一般社団法人あおばサポート
- ・ L(エル)ネット

楽しく健康づくり

レッツ・ウォーキング!

●NPO法人 日本ノルディックフィットネス協会

高齢化社会の進行に伴い、「寝たきり」や「要介護」などの言葉が飛び交う現代。そんな中、自分自身の健康維持を考え、運動を習慣にしている人は、六十代以上が最も多いというデータがあります。(厚生労働省「平成二十五年国民健康・栄養調査」より)

そのシニア層が無理なく楽しく行える運動として、今注目されているのが、フィンランド生まれの「ノルディックウォーキング」。

皆さんも名前はどこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか。

人々の心身の健康増進や交流に貢献することを目的に、ノルディックウォーキングを含むノルディックフィットネススポーツを全国に広めようと活動しているのが、NPO法人日本ノルディックフィットネス協会(以下、JNFA)です。国際ノルディックウォーキング連盟(本部フィンランド)が

認定した唯一の日本支部で、仙台市に本部があります。今回はJNFAの海老名裕太さんにその魅力を伺いました。

年齢問わず楽しめる 健康効果の高いスポーツ

「ノルディックフィットネススポーツ」とは、二本のポールを両手に持って行なうことで、体への負荷が分散され、安全性が高いスポーツです。中でもノルディックウォーキングは、年齢問わず家族や仲間と一緒に会話を楽しみながら気軽にできる運動として親しまれています。

体力やその日の気分、目標に合わせて、その人なりのプランで取り組むことができるので、シニアの方でも体に負担をかけず全身運動ができます。さらに続けることで、体に柔軟性が生まれ、筋力も鍛えられるため、転倒防止や足腰の強

化も期待されています。

会員数は、全国で二四二三人。その中で宮城県は三三二人と全国一位で(二〇一四年十一月一日現在)、サークル数は五十以上にのびります。

そのサークルのうちのひとつ、水の森ノルディックウォーキングスクール代表の藤江正彬さんは「ノルディックウォーキングを始めたことで、体が引き締まり、ひどかつた肩こりもなくなったんです。歩いた後は本当に気分爽快で、色々なことが前向きに考えられるようになりました」と話します。そして楽しみを分かち合える仲間や、サークルを通してできた人との繋

がりも、かけがえのないものになったと続けました。

楽しむことが大切

「将来、フィンランドのように、日本のどの家庭にもノルディック専用ポールが置かれ、このスポーツがもっと身近なものになったら嬉しい」と海老名さん。そして「何より、楽しむことが大切」と笑顔で語ります。

年齢・性別・身体能力を問わず始められるノルディックウォーキング。現在日本では、健康意識が高いシニア層を中心に広まっている傾向がありますが「若い世代にも魅力を伝えていきたい」と海老名さんは今後の抱負を語りました。

健康の自己管理は、自分を守り、そして大切な人を守ることに繋がります。日々の健康づくりの一環として、まずは身近なことから始めてみませんか。ちょっと外に出て歩いてみることも大きな一歩です。(取材 阿部倫子)



▶ノルディックウォーキングを楽しむ愛好者

NPO法人日本ノルディックフィットネス協会

〒981-0962
仙台市青葉区水の森三丁目24-1
●TEL&FAX: 022-277-8477
●URL: <http://jnfa.jp/>

みやぎ社会貢献大賞 シャロームの会 地道な活動評価され、三度目の正直

今年一月二十一日、宮城野区新寺の「カフェギャラリー・太陽とオリーブ」にて、平成二十六年度みやぎ社会貢献大賞の授賞式が執り行われました。

今年度の大賞受賞団体は「カフェギャラリー・太陽とオリーブ」の運営団体、NPO法人シャロームの会です。

魅力的な団体多数で 審査は難航

みやぎ社会貢献大賞は、一般財団法人愛知揆一福祉振興会が二〇〇七年に創設。宮城県内の市民活動がより成熟することを期待し、継続的に市民活動に取り組んでいる団体への支援を目的としています。毎年、選考された一団体に大賞一〇〇万円が授与されます。

今年度は二十団体からの応募があり、一次書類審査を経て五団体が二次審査に臨みました。二次審査に残ったのはNPO法人ネットワークオレンジ、NPO法人ほつぷの森、みやぎ民話の会、NPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブ、そしてシャロームの会でした。

二次審査は公開審査となっており、各応募団体は審査員や参加者に向けて自団体の活動実績、活動にかける思いなどをアピールします。今回の受賞団体であるシャロームの会は、施設長の菊地康子さんが発表を行いました。その時は、菊地さん自身「他の団体の発表が素晴らしいだったので、私たちが受賞するのは無理だろう」と感じられたそうですが、結果的に大賞を受賞したのはシャロームの会でした。

愛知揆一福祉振興会理事長の愛知絢子さんは、授賞式で「今年は応募団体のレベルが高く、どの団体を選ぶべきか非常に悩みま

した」と選考時の一端を話し、その選考理由を「十五年にわたる地道ながら着実な活動の継続を評価しました」と語りまし

三回目の応募でようやく受賞

シャロームの会がみやぎ社会貢献大賞に応募したのは今回が三回目です。震災前に二度応募したことがありましたが、二度とも二次審査で落選。今回の大賞受賞が三度目の正直となりました。

シャロームの会は二〇〇〇年、精神に障がいを抱える人びとの就労支援の場として、理事長の菊地茂さんが自らの行政書士事務所を職親制度に登録したことからはじまりました。行政書士事務所では受け入れられる人数に限りがあるため、よりきめ細かい支援を行える



◀シャロームの会の皆さんと愛知揆一福祉振興会の理事の皆さん(中央:菊地康子さん)

ようにと設立されたのがシャロームの会です。

初めは利用者三人からのスタートでしたが、現在は①生活訓練、②就労移行支援、③就労継続支援A・Bの四つの段階で約六十名の精神障がい者を支援しています。生活訓練で生活のリズムを整え、働く意欲が出てくれば就労移行支援で就労に必要な業務スキルを鍛え、A・B型の就労継続支援や外部就労へとチャレンジします。就労移行・就労継続支援の場となるのは、仙台市内四か所のカフェやレストラン。「カフェギャラリー・太陽とオリーブ」もその一つです。

「選ばれるとは思っていませんでしたが、恐らくこの十五年の歩みを評価して頂けたのだと思います」と菊地康子さん。獲得した一〇〇万円は故障してしまった印刷機の買い替えに使い、広報誌、店のチラシなどを通してさらにシャロームの会の活動を充実させていくとのことでした。

(取材 大西直樹)

みやぎ社会貢献大賞

- 主催：一般財団法人愛知揆一福祉振興会
- TEL：022-262-0666
- URL：http://www.aichi-fukushi.org/



世界が注目する市民参加の 国連防災世界会議

防災からまちづくりを考える実行委員会 事務局長 伊藤浩子

第3回 国連防災世界会議 パブリック・フォーラム「市民協働と防災」テーマ館

2015.3/14^{ひきだす} SAT 15^{ささえる} SUN 16^{つながる} MON 17^{ひろげる} TUE
つながる想いを、マチのチカラに。

三月十四日～十八日に開催される第三回国連防災世界会議。

そのパブリック・フォーラムとしての「市民協働と防災」テーマ館では、東日本大震災の経験や教訓を生かした防災や復興に関する市民や団体の取り組みを、参加者とともに共有し国内外に発信します。

三月十四日～十七日までの開催期間には、宮城県内で活動する市民活動団体やNPO、NGO、町内会、大学やまちづくりを行っている組織など計三十四団体が、シンポジウムやトークセッション、パネル展示などを通じて震災以降に取り組んだ防災減災に関わる取り組みを伝えます。

取り組みの分野もさまざまです。「災害救援」、「まちづくり」、「教育」、「人権」、「子ども」、「動物」、「福祉」。震災を機に市民や地域が抱える課題も多様であり、顕在化した課題に対してどのように市民が解決に向けて動いてきたのか、また経験からの学びをこれからの生活にどう活かすのかを伝えます。

四日間のプログラムの

一部を紹介します

●三月十四日(土)

NPO法人アフタースクールばるけ

「あなたができる ちょこつとの輪を広げるために」

東日本大震災後見えてきた障がい児者とその家族の課題を、実態調査等や体験談を踏まえて参加者と共有し、その課題解決のためにこれまで取り組んできた、地域の中でちょこつと見守る人が増える事や困った時に助けると言える「受援力」の大切さを広める活動について紹介します。

●三月十五日(日)

公益社団法人仙台青年会議所

「しあわせの黄色いハンカチプロジェクト」

災害時の速やかな安全確認と、防災意識の高い地域づくりのために目印として黄色いハンカチを使用します。

そのハンカチと使用方法を記載したチラシを配布し、各地域での意識統一の機会を提供します。またプロジェクト説明の映像を放映いたします。

●三月十六日(月)

お宮町地域情報編集局

「東八地区の取り組み【過去・現在そして未来】」

一、東日本大震災前に地域で取り組んでいた事例を紹介し、それらの取り組みが震災直後にどう役立ったのかを紹介。【過去】

二. 地域情報誌を用いた地域住民への防災に係るアンケート調査をもとに、現在の地域の防災意識を浮き彫りにする。【現在】

三. 地域内の防災について、現在取り組んでいる事例と、地域内の学校の取り組み等を通じた現状と、未来の形の提案。【未来】

四. 情報と防災意識の視点

五. ジャーナリストの目を通じた地域情報誌とは

地域の取組みを情報誌を通して伝えます。

●三月十七日(火)

NPO法人オペレーション・ブレッシング・ジャパン

「東日本大震災における塩竈市とNGOとの連携」

塩竈市災害対策本部とともに、避難所などでの被災者のケアやヒアリングを行い、安全確保と二次災害の防止に努め、物資の確保や配布の取組みや、壊滅的な被害を受けた水産業の復興に当たり、NGOと協力した取り組みで得たスキームと成果、課題を伝えます。

●三月十四日～十七日

市民防災世界会議

NGOや日本のNPOとのネットワーク組織で構成する2015防災世界会議日本C

SO ネットワーク(以下JCC 2015)が特別企画として、各国の市民同士が学び合う防災会議の場と情報発信を行います。

これ以外にも多くの出展企画があります。市民それぞれが取り組み、つながってマチのチカラにしてきたことを、ぜひみなさんも参加して伝えあいましょう。

ボランティアも募集します

「市民協働と防災」テーマ館では事前準備から当日運営までをお手伝いしてくれるボランティアを募集します。

一人でも多くの市民を巻き込み、市民が一緒に創り上げるテーマ館。広報サポートや当日運営のお手伝いまで少しの時間でも構いません。「市民協働と防災」テーマ館に関わりたという方の応募をお待ちしております。

会場となる仙台市市民活動サポートセンターでも説明を致します。詳しくは「市民協働と防災」テーマ館HPをご覧ください。
<http://www.machinowa.net/volunteer>

従来、市民協働や市民防災の担い手と考えられてこなかった子どもたちや若者の防災まちづくりへの参加や協働することによって地域に新しい防災の主体が出現した例について取り上げます。

市民協働と防災における潜在的・新しいチカラ、隠れた可能性について学びあいます。

14 SAT

ひきだす

4F
研修室5

9:00～12:00
障がい児者とその家族の課題を共有し、受援力の大切さを広める
●出展団体／
NPO 法人
アフタースクールばるけ

13:00～17:00
小中学生がファシリテーターとなり防災・減災ワークショップ「命を守る」を実施
●出展団体／
チーム東中田っ子

18:00～22:00
わが家の防災対策ワークショップ
●出展団体／
一般社団法人ピースボート
災害ボランティアセンター

6F
ホール1

9:00～12:00
主に子どもを対象とした津波の発生を想定したウォークラリー、セミナー
●出展団体／
公益財団法人日本 YMCA 同盟
公益財団法人仙台 YMCA

12:30～15:30
高校生による被災地復興のまちづくり
●出展団体／
TOMODACHI RAW VOICE

16:00～18:30
学校と市民の協働による避難体制の確立
●出展団体／
NPO 法人 KIDS NOW JAPAN

19:00～22:00
地元と協働する災害支援と防災減災対策
●出展団体／
認定 NPO 法人
ジャパンプラットフォーム

15 SUN

さえる

市民協働と防災における地域で互いを支え合うこと、声を掛け合うことの大切さについて学びあいます。

ひとたび災害が起きるとそれまでは普通に行っていた暮らしのいろいろなことに地域の人々の協力が必要になります。そうした支えを日頃から維持していくにはどうしたら良いのかについて取り上げます。

4F
研修室5

9:00～12:00
しあわせの黄色いハンカチプロジェクト
●出展団体／
公益社団法人仙台青年会議所

13:00～17:00
災害応急井戸の取組み
●出展団体／
赤生木町内会

18:00～22:00
東日本大震災の経験を生かしたデザインセッションを実施している市民プロジェクト
●出展団体／
み・まもるプロジェクト実行委員会

6F
ホール1

9:00～12:00
防災教育の取組み「防災エンショー」「ドキュメンタリー映画」
●出展団体／
仙台の防災教育を推進する実行委員会

13:00～17:00
仙台発そなえゲーム
●出展団体／
市民協働による地域防災推進実行委員会

18:00～22:00
分譲マンション管理組合の防災への取組み
●出展団体／
一般社団法人
宮城県マンション管理士会

▶仙台市市民活動サポートセンターでは、四日間毎日異なるテーマで各団体の取り組みがなされる。ここでは十四日と十五日の内容を紹介する。

IT支援の輪を広げるために ～NPO法人イー・エルダー東北支部～

みやぎNPOプラザ(以下プラザ)には、貸出用のシヨップスペース「常設シヨップ」があります。市民・NPOによるコミュニケーションビジネスを支援する場として設置されています。昨年の十二月からNPO法人イー・エルダー東北支部(以下イー・エルダー)が入居し、気軽に練習ルーム「Paso Cafe」(以下Paso Cafe)をオープンさせました。

IT技術を活かした支援を

イー・エルダーは、中・高齢者が現役時代に培ったIT(情報技術)の「知識・技術・経験」を活かして、ITを上手く活用できないNPOへの支援や、高齢者・障がい者などの社会参加支援を目的に、ITを中心とした様々な支援活動を行っている団体です。

主な事業として、ホームページ作成の経験がない、費用もないとあきらめている方を対象に「簡単ホームページ作成講座」や、ITのことがよく分からない



IT相談の様子

という方に「IT相談」を行っています。

その他に小中学校・高等学校の児童生徒・保護者・教職員を対象とした「eネット安心講座」という、判断力の不十分な子どもをインターネットトラブルから守るための講座に講師の派遣をしています。

これまで講座や相談の開催で利用してきたプラザに常設シヨップを開設したことについて、NPO法人イー・エルダー東北支部・東北支部長の武藤正勝さんは、「約二年前に始まったIT相談で、NPOのIT化がいかに遅れているかが見えてきた。その原因として考えられるのは、組織の中心となっている人たちの高齢化である。このような相談から得た課題を解決するため、活動する拠点が欲しかった。プラザはいろいろな方が出入りしており、目につきやすい。そこから支援の輪を広げていきたい」と話します。

Paso Cafeが目指すもの

組織の高齢化が、NPOのIT化の遅れの原因となっている理由に、「IT」という言葉が堅苦しく聞こえてしまうことがあげられ

ます。そこで、くつろぎを感じることができ、気軽に相談できる場所であって欲しいという想いから「Paso Cafe」と名付けました。「Paso Cafe」では「IT相談」「パソコン個人指導」「講座開催」「Jimdoワンコイン相談」などが開催されます。また、パソコンだけではなく、タブレットやスマートフォンを使い方の相談も受け付けています。

武藤さんは、Paso Cafeを開設したことにより、「イー・エルダーの組織の活性化を図るだけではなく、目に見える活動をしていくことで、組織の若返りや活動に賛同する人たちの増やしていきたい」と団体の活動の抱負についても語りました。今後のイー・エルダーの活動がさらなる発展を遂げることが期待されます。

気軽にパソコン練習ルーム【Paso Cafe】

- 開催日時：火曜～土曜10:00～17:00(日程は相談に応じます)
- 申込(完全予約制)：希望日の5日前まで下記よりお申込み下さい。
- TEL/FAX：022-796-8091
- E-mail：tohoku@e-elder.jp

【IT相談】相談料：1時間1,000円
【パソコン個人指導】指導料：1時間1,000円
【Jimdoワンコイン相談】相談料：1時間500円
(ワンコイン相談は当会のホームページ講座を受講された方のみ)

プラザのNPO講座・相談

お申込みはコチラから

市民活動のためのIT活用講座in栗原
～地域づくりとソーシャル・メディア～

2/28(土) 13:30～15:30

会議が変わる！
ファシリテーショングラフィックを学ぼう！

3/13(金) 13:30～16:30

融資なんでも相談

2/19(木) 13:00～17:00

法律相談

3/6(金) 13:00～17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>



助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

東日本大震災 復“幸”支“縁” 地福寺出開帳 両国回向院 復幸支縁基金

- 助成対象：東日本大震災で被災された方を対象とした、メンタルヘルスケア、グリーンケア、子ども・子育て支援、社会的弱者(障がい者、高齢者、ひとり親世帯、生活困窮者、外国人等)支援の事業
※特に宮城県気仙沼市で行われる案件を優先
- 対象団体：岩手県、宮城県、福島県に主たる事務所をおき、事業を実施している団体(法人格の有無不問)
- 助成金額：上限50万円
- 応募締切：2月16日(月)必着
- 連絡先：公益財団法人地域創造基金さなぶり
(担当：川村、鈴木)
TEL：022-748-7283
(祝祭日を除く月～金9:30～18:30)
E-mail：shienkikin@sanaburifund.org

平成27年度 仙台市若林区まちづくり活動助成

- 助成対象：地域課題の解決を図るもの、地域の自助力の向上を図るもの、地域や区の色をいかし、その魅力を高めるもの、その他、助成することが適当と認められるもの
- 対象団体：若林区内に活動拠点を有する市民団体、団体の構成員のおおむね半数以上が若林区内に住所があるか、通勤・通学をしていること
- 助成金額：上限50万円
- 応募締切：2月27日(金)17時必着
- 連絡先：若林区まちづくり推進課地域活動係
TEL：022-282-1111(内線6137)

平成27年度 東北の未来をつくる女性と子ども応援プロジェクト

- 助成対象：①子どもの教育・体験活動・心のケアに資する支援活動
②輝く女性の新たなチャレンジ及びその支援活動
③その他、特別に助成を必要とされる事業
- 対象団体：岩手県・宮城県・福島県など被災地の、女性と子どもを対象とした支援活動やもしくは新たなチャレンジを目指している女性グループ(法人格の有無不問)
- 助成金額：上限額なし、助成総額11,685,000円
採択団体件数5件程度
- 応募締切：2月27日(金)必着
- 連絡先：株式会社フヨウサキナ 企画本部(担当：辻林)
E-mail：mirai-tohoku@saqina.jp

平成27年度第1期 公益財団法人仙台国際交流協会補助金

- 助成対象：仙台市内で行われる国際交流、多文化共生、国際協力活動、異文化理解を促進するための事業
- 対象団体：主に仙台市内で活動し、構成員の過半数が仙台

市内にお住まいか通勤・通学している団体

- 助成金額：上限10万円
- 応募締切：2月27日(金)必着
- 連絡先：公益財団法人仙台国際交流協会
TEL：022-265-2480
E-mail：plan2@sira.or.jp

第4回 杉浦地域医療振興助成

- 助成対象：医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者等の多職種が連携し、地域包括ケアを実現しようとする活動や研究
- 対象団体：高齢者人口が急激に増加している都市部で地域医療従事者として実際に業務を行っている多職種の個人又は団体
- 助成金額：1件につき上限300万円
- 応募締切：2月28日(土)必着
- 連絡先：一般財団法人杉浦地域医療振興財団
TEL：0566-72-3007 FAX：0566-72-2901
E-mail：info@sugi-zaidan.jp

2015年度 CO・OP共済 地域ささえあい助成

- 助成対象：生活協同組合とNPO・ボランティア団体等が協同した取り組みで下記項目にあてはまる活動
①くらしを守り、くらしの困りごとの解決に資する活動
②命を守り、その人らしい生き方ができるようにする活動
③女性と子どもが生き生きする活動
- 対象団体：生活協同組合、NPO・ボランティア団体等
- 助成金額：1事業あたり最大100万円
- 応募締切：3月15日(日)必着
- 連絡先：日本コープ共済生活協同組合連合会
コープ共済連 渉外・広報部
地域ささえあい助成事務局
TEL：047-351-3356(平日10:00～17:00)
E-mail：contribution@coopkyosai.coop

平成27年度みちのく国づくり支援事業

- 助成対象：①災害の防止を目的とする事業
②地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業
③国土の利用、整備又は保全を目的とする事業
- 対象団体：東北地方に所在地を置き、社会資本整備に関する事業を実施している公的機関、関係団体、関係法人(NPO法人で共同事業)等
- 助成金額：支援対象事業費の1/2以下で助成金額は協議の上決定
- 応募締切：3月16日(月)必着
- 連絡先：一般社団法人東北地域づくり協会 地域事業部
(みちのく国づくり調査室 担当：四戸、中村)
TEL：022-268-4711 FAX：022-211-9534
E-mail：michinoku@kyokai.or.jp

- 内 容：講義「教室活動を再考する～実生活と結びついた日本語学習支援を目指して～」
懇談会 お茶とお菓子を囲んで、他の支援者の方々と
の情報交換、ネットワークづくりをしませんか
- 対 象：外国人の日本語学習支援の活動をしている方
または関心のある方
- 定 員：60名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：TELまたはFAX、メールで氏名・お住まいの市
区町村名・TEL・メールアドレス・所属団体を
明記のうえ申込み
- 主 催：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)
- 連 絡 先：〒981-0914 仙台市青葉区堤通南宮町4-17
宮城県合同庁舎7階
TEL：022-275-3796 FAX：022-272-5063
E-mail: mail@mia-miyagi.jp
URL：http://mia-miyagi.jp

3/13 メモリアル・市民協働プロジェクト『伝える学校』 第3回 国連防災世界会議「アーティスト会議」

.....
いま、私たちが感じていること。カタチにして未来へ語りつ
いでいくために。私たち市民ひとりひとりが発信できる「震
災メモリアル」のあり方を、一緒に考えてみませんか？

- 日 時：3月13日(金)18:00～21:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 地下1階
市民活動シアター(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 出 演 者：藤 浩志氏(美術家、十和田市現代美術館館長、
秋田公立美術大学教授)
バルコ キノシタ氏(美術家)
タノ タイガ氏(美術家)
門脇 篤氏(現代美術家、一般社団法人まちとアート研究所代表)
村上 タカシ氏(美術家、一般社団法人MMIX Lab代表)
- 歌出演者：静音 ちか氏(東北弁の語りと演歌)
- 参 加 費：無料
- 主 催：一般社団法人MMIX Lab
- 連 絡 先：〒980-0021 仙台市青葉区中央2-10-1
勝山ビルディング6階
TEL：070-6970-1976
E-mail：info@mmix.org
URL：http://mmix.org/

3/14 第3回 国連防災世界会議 パブリック・フォーラム 『逃げ遅れる人々～東日本大震災と障 害者』上映会

.....
マスメディアでは断片的にしか取り上げられていない、被災
地の障がい者のさまざまな現実に向きまします。英語字幕・通訳

付きです。

- 日 時：3月14日(土)17:40～19:45(開場17:25)
- 場 所：TKPガーデンシティ仙台勾当台 ホール7
(仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル3階)
- 定 員：120名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先へ電話で問い合わせ
- 主 催：CILたすけっと
- 連 絡 先：〒982-0011 仙台市太白区長町1-6-1
TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501
E-Mail：cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp
URL：http://blog.canpan.info/tasuketto/

3/14 第3回 国連防災世界会議 パブリック・フォーラム パブリック・フォーラム テーマ館 「女性と防災」

.....
第3回国連防災世界会議の期間中、エル・パーク仙台は「女
性と防災」に関連した事業が開催される、テーマ館となりま
す。テーマ館主催シンポジウム「女性と防災～仙台発 東日
本大震災4年後の視座」と題し、「多様性」と「女性参画」をキー
ワードに5つのプログラムで発信します。

- 日 時：①3月14日(土)13:30～16:00
②3月15日(日)14:30～17:00
③3月16日(月)13:30～16:10
④3月17日(火)9:30～12:00
⑤3月17日(火)13:00～16:00
- 場 所：エル・パーク仙台6階 ギャラリーホール
- 内 容：①トーク×トーク 女性たちのリーダーシップ
②あるってだいじ～災害時の男女共同参画セン
ターの役割とは～
③災害の強い社会づくり～男女共同参画の視点
を根づかせる～
④復興に向けて動く 企業の女性たち
⑤災害と女の子たち～ガールズ防災会議～
(※逐次通訳有)
- 定 員：各180名(先着順)
- 申込方法：ホームページの申込フォームまたは、FAXでお
申込みください
- 主 催：仙台市
公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連 絡 先：仙台市男女共同参画推進センター
エル・パーク仙台 管理事業係
〒980-8555 仙台市青葉区一番町4-11-1
141ビル(仙台三越定禅寺通り館)5・6階
TEL：022-268-8300 FAX：022-268-8304
URL：http://www.sendai-l.jp/

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要
も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です！**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

編集後記

以前、ノルディックウォーキングを体験するご縁がありまし
た。緑に囲まれた林道の中を、風を切りグイグイ進む心地よさを、
今も覚えています。取材の際にお聞きした「楽しむことが大事」
という言葉。あの時の感覚が蘇りました。運動だけでなく、何事
にも通じる「楽しむ」こと。普段から意識して、生活に取り入れ
ていきたいです。(阿部)

シャロームの会さんのお店のご飯といえば玄米！ 施設長の
菊地康子さんは玄米食でアトピーを治した経験をお持ちだそう
で、それもあって各店舗では白米と玄米を選べるようになってい
ます。僕はみやぎNPOプラザの「オリーブの風」をよく利用さ
せてもらっていますが、注文するのはいつもカレーばかり……。
シャロームさんのカレー、美味しいんです。もちろん、ご飯は玄
米です！(大西)

- 場 所：仙台AER30階 TKPガーデンシティ仙台 ホールD
(仙台市青葉区中央1-3-1)
- 対 象：教育分野でのつなぐ役割を担う方(教員、地域
コーディネーター、NPOスタッフなど)
- 定 員：80人
- 参 加 費：なし、交通費実費支給
- 申込方法：下記連絡先まで、参加者名、連絡先をTEL、FAX、
E-mailでお知らせください
- 申込締切：2月16日(月)
- 主 催：NPO法人まなびのたねネットワーク
- 連 絡 先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-6-22
シャンプールー番町704号
TEL：022-707-0122 FAX：022-707-0497
E-mail：info@manabinotane.net
URL：http://www.manabinotane.net/

2/27 市民活動情報交流会

石巻市内には、10年以上にわたって活動をされている団体さん、そして震災以降、石巻のために復興の担い手として頑張ってくれている団体さんがいます。石巻の今後を考えていくために、ぜひ一度情報交換をしましょう！当日は活動報告や名刺交換の時間も予定しています。

- 日 時：2月27日(金)18:00～20:00
- 場 所：みやぎ生協文化会館アイトピアホール
(石巻市中央2-7-3)
- 対 象：石巻市内外で市民活動を行っている団体、NPO法人など
- 定 員：100人
- 参 加 費：2,000円
- 申込方法：下記連絡先まで、団体名、参加者名、連絡先を
TEL、FAX、E-mailでお知らせください
- 申込締切：2月23日(月)
- 主 催：NPO法人いしのみきNPOセンター
- 連 絡 先：〒986-0832 石巻市泉町3-1-63
石巻市NPO支援オフィス内
TEL：0225-23-0851 FAX：0225-23-3641
E-mail：npo@i-port.ne.jp
URL：http://ishinomakinpocenter.jimdo.com/

2/28 地域ICTサポーターレベルアップ講座 ～ICT活用のメリットは？PCではダメなの？持ち運べるデバイスが、皆さんの生活を楽しくします！～

スマートフォンやタブレットの普及により、モバイル端末の使い方や活用方法に関する講座の需要が増えています。ICTやクラウドの活用、SNS講座やモバイル活用を講座にするためのワークショップなど、ICTサポーターがモバイルやネット活用に対応するために有益な講座です。

- 日 時：2月28日(土)10:00～16:00(受付9:30～)
- 場 所：名取市文化会館 会議室(名取市増田字柳田520)
- 講 師：内野 良昭氏(ICTコミュニケーションズ株式会社代表取締役CEO)
- 対 象：団体等でパソコンなどICT関連の講師・アシスタントをされている方、ICT関連講師に関心がある方
- 定 員：30名(先着順)
- 参 加 費：1,000円(資料代)
- 準 備 物：スマートフォン、タブレット、PCをお持ちの方はご持参願います
- 申込方法：下記連絡先に氏名、連絡先(TEL・E-mail)、性別をご記入の上お申込み

- 申込締切：2月20日(金)
- 主 催：NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-293-7767
(火～土曜日 9:30～18:00)
E-mail：ict@ictpo-miyagi.jp
URL：http://www.ictpo-miyagi.jp

3/1 障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」

仙台市では、「共生社会」の実現のために、障害を理由とする差別の解消を推進するための条例の制定について検討しています。条例の検討にあたり、障害の有無にかかわらず、市民の皆さんと一緒に理解を深め、意見交換を行う場として、ワークショップを開催します。

- 日 時：3月1日(日)14:00～16:00
- 場 所：仙台市役所8階ホール(仙台市青葉区国分町3-7-1)
※公共交通機関でお越しください。
- 内 容：取組み状況、ワークショップ(事例を通じた意見交換)
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL、FAX、E-mailにて申込み
※手話・要約筆記・託児(未就学児)が必要な方は、2月16日まで申し込み
- 申込締切：2月23日(月)
- 主 催：仙台市
- 連 絡 先：仙台市健康福祉局健康福祉部 障害企画課企画係
TEL：022-214-8163 FAX：022-223-3573
E-mail：fuk005330@city.sendai.jp

3/6 仙台Iゾンタクラブ ローズデー記念講演会 母子世帯の貧困と日本の家族政策について

いま、日本の子どもの6人に1人は貧困。なかでも、母子世帯の貧困は深刻です。日本社会のどこに問題があるのか、女性と子どもを支える政策はどうあるべきなのか、考えてみませんか。

- 日 時：3月6日(金)18:30～20:30
- 場 所：仙台国際ホテル 広瀬の間
(仙台市青葉区中央4-6-1)
- 内 容：「母子世帯の貧困と日本の家族政策について」
講師：下夷 美幸氏(東北大学大学院文学研究科教授)
- 定 員：100名
- 参 加 費：5,000円(食事付)
- 申込方法：下記連絡先までFAX、またはE-mailで申込み
- 申込締切：2月23日(月)
- 主 催：仙台Iゾンタクラブ
- 連 絡 先：FAX：022-296-0192
E-mail：d26sendai@zonta-d26.jp

3/8 MIA日本語ボランティアセミナー

外国人の皆さんを対象とした日本語学習支援のあり方について考えること、また、参加者同士の意見交換・情報交換を通して連携を図ることにより、支援活動をより良いものとしていただくことを目的に開催します。

- 日 時：3月8日(日)13:00～16:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師：品田 潤子氏(公益社団法人国際日本語普及協会所属教師)

- 日 時：①2月22日(日)13:00～17:00(インプット編)
②3月5日(木)13:00～17:00(アウトプット編)
- 場 所：ノートプランカ(CoCo壱番屋のビル8階)
(仙台市青葉区一番町2-7-5飯田ビル8階)
- 内 容：①2月22日(日)インプット編
社会で求められる人物像を知り！
＜トークセッション＞
・会いたいと思われる人になるためのマナー
・地元企業に内定した先輩に、就活の本音を聞く！
・就活生に見られがちな傾向と対策
＜写真のアレコレとヘアメイクを伝授＞
履歴書の写真は第一印象を決める要素です。写真の大切さと就活用のヘアメイクを学ぼう！
②3月5日(木)アウトプット編
悩みスッキリ解消！
＜E S記入対策 自己分析と解説＞
＜大個別相談会＞
※個別相談会は2/22(インプット編)にご参加いただいた方(16名限定・要予約)
・就活に不安を感じる
・自分は何に向いているのか分からない
など、誰にも話せない思いをキャリアカウンセラーに話してみませんか？
詳細は、下記URLからご確認ください
http://www.heartbest.net/career/2015_winter.pdf
- 対 象：高校生、大学生、若年求職者
- 定 員：50名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL・E-mailにてお申込みください。メールの場合、氏名、学校名(学年)を明記し申込み
- 主 催：NPO法人ハーベスト
- 連 絡 先：Switch！みらい発見塾(担当：松田、小角)
TEL：022-395-4311
E-mail：switch@heartbest.net
URL：http://switch2013.blog.fc2.com/blog-entry-135.html

- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室2
- 講 師：真山 正太氏(グラフィックデザイナー)
- 定 員：15名
- 参 加 費：1,000円(当日会場にてお支払いください)
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで事前申込み
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連 絡 先：TEL：090-3049-0613(担当：千葉)
FAX：022-224-5308
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/

2/26 「市民活動団体のためのIT活用相談会」

市民活動団体、NPOなどの組織運営や日々の広報活動に、もっとITを活用してみませんか？費用をかけないHPの作り方やHPとSNSの連携運用、セキュリティ対策・・・などIT操作・活用に関するご相談をお受けします。市民活動に携わりITについて経験豊富な相談員が対応します。

- 日 時：2月26日(木)
①13:30～14:30 ②14:45～15:45
③16:00～17:00
- 場 所：名取市市民活動支援センター 会議室
- 相 談 員：武藤 正勝さん(NPO法人イー・エルダー東北支部)
- 対 象：名取市内で活動するNPOや市民活動団体などのメンバー、名取市にお住まいで市民活動に興味のある方など
- 定 員：先着3団体(予約制)1団体 約1時間
- 申込方法：下記連絡先まで団体名、氏名、連絡先を明記の上、FAX、E-mailまたはTELで申込み
- 申込締切：2月22日(日)
- 主 催：名取市
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：名取市市民活動支援センター
TEL：022-382-0829 FAX：022-382-0841
E-mail：npo@natori-npocenter.or.jp

2/24 カラーユニバーサルデザイン講座

日本では、20名に1人、全体で約300万人以上の色弱者がいます。印刷物や屋外のサインなどはそういった人たちに配慮された色彩になっているのでしょうか。講座では、色弱って何？、色弱者が困っている事、シュミレーターで見る色弱者の見え方、私たちにできる事を学びます。

- 日 時：2月24日(火)19:00～20:30

2/27 「学校と地域をつなぐコーディネーター大交流会」

子ども達のより豊かな学びのため、学校と地域をつなぐコーディネーター。県内で活動するコーディネーターが集い、日頃の活動についての思いや考えを緩やかに話し合う交流会を開催します。

- 日 時：2月27日(金)13:30～16:30

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

■宮城県

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>

NPO法人の設立を新しく申請した団体				
団体名		所在地	活動内容	受理日
宮城県等	生涯発達支援センター	仙台市	仙台市において、放課後等デイサービス事業等を行うもの。	12/18
	nippon collaboratory	仙台市	地域文化に係る情報収集及び研究のほか、欧州、北米において文化交流事業を行うもの。	12/22
	スポーツコミュニケーションかくだ	角田市	角田市において、スポーツ教室等の運営及び各種スポーツ大会の開催等を行うもの。	12/26
仙台市	Links	宮城野区	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業	12/11
市	きらきら発電・市民共同発電所	泉区	市民参加型の太陽光発電など自然エネルギーによる発電事業、自然エネルギーの普及促進に関する情報収集及び広報事業、食物用放射線測定器による放射線測定事業等	1/5

NPO法人に認証された団体				
	団 体 名	所在地	活 動 内 容	認証日
宮城県等 仙台市	ぱんぶきんふれあい会	石巻市	地域住民との健康づくりや介護予防に関する事業	1/6
	ケア・コンピタンス協会	青葉区	教育・研究事業、講演会・セミナー・勉強会の実施事業、広報事業	1/5

新たに認定NPO法人を取得したNPO法人

- 認定/グループゆう(泉区)
- 認定/冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク(青葉区)

※認定(仮認定)NPO法人への寄付金は税額控除の対象になるなど、
認定(仮認定)NPO法人は税制面で優遇措置を受けることができます

宮城県のNPO法人数

782団体

宮城県等所轄:367団体
仙台市所轄:415団体
※2015年1月10日現在

山元町 2月20日(金)
坂元公民館 第2会議室
南三陸町 2月23日(月)
南三陸ポータルセンター 交流館
岩沼市 2月26日(木)
岩沼市中央公民館 第5会議室
名取市 2月27日(金)
名取市文化会館 会議室

- 内 容：子どもに関わる機関と役割について
講師：児童相談所職員・市町村職員 他(予定)
子ども救済と家庭への関わり方～事例を通して～
報告者：小林 純子氏
(NPO法人チャイルドラインみやぎ)
事例を基にしたグループ討議 まとめ
- 対 象：地域、学校などで子どもを支えている支援者、
教員、その他一般の方などどなたでも
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
申込み時、氏名、住所、連絡先、所属をお知らせ下さい
- 主 催：NPO法人チャイルドラインみやぎ
- 連 絡 先：〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5
スカイハイツ102
TEL/FAX：022-279-7210
E-mail：c.l.miyagi@viola.ocn.ne.jp
URL：http://cl-miyagi.org/event/731/

2/18 石巻市みみサポサロン

聴覚障がいをお持ちの方、ご家族、関係者のみなさんが、地域の中で安心して暮らすために、役に立つ講話(福祉制度や健康、防災など)や巡回相談会など、地域に合わせたさまざまな企画を用意しています。手話や筆談など、安心できるコミュニケーション手段で対応します。

- 日 時：2月18日(水)10:30～14:30
- 場 所：石巻市役所 2階 子育て支援課前(予定)
- 内 容：10:30～12:00 聴覚障害者情報センター案内
いよいよオープン！「宮城県聴覚障害者情報センター」の事業や利用案内をご紹介します。
13:00～14:30 参加者交流サロン、個別相談コーナー
- 対 象：聴覚障がいをお持ちの方やご家族など、どなたでもご参加可能
- 参 加 費：無料
- 情報保障：手話通訳、要約筆記(文字通訳)付き
- 申込方法：事前申込不要
- 主 催：宮城県聴覚障害者情報センター(みみサポみやぎ)
- 連 絡 先：〒980-0014 仙台市青葉区本町3-1-6
宮城県本町第3分庁舎1階
TEL：022-393-5501 FAX：022-393-5502
E-mail：info@mimisuppo-miyagi.org

2/18 みやぎNPOプラザ利用者懇談会 ～アツク語りませんか？NPOのこと…！～

今年も、みやぎNPOプラザは「利用者懇談会」を開催します。活動分野が違って、多くのNPOが抱える“人材”や“お金”や“広報”などの悩み…。「よその状況を知りたい！」「ほかの団体はどう乗り越えているの？」などの情報交換をはじめ、NPOにまつわるあれこれをざっくばらんに語り合いたい。NPOに参加してみたいな、という方も大歓迎です。

- 日 時：2月18日(水)14:00～15:30

- 場 所：みやぎNPOプラザ交流サロン
- 対 象：プラザを利用したことがある方
- 参 加 費：無料 ※お茶とお菓子をご用意しています。
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX、郵送、E-mailで申込み
※事前申込みにご協力ください。申込なしの当日参加も可能
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先は、P8をご覧ください)

2/21 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ち等を、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

- 日 時：★仙台会場 2月21日(土)14:00～16:30
場所：みやぎ婦人会館
★気仙沼会場 2月28日(土)13:00～15:30
場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」
- 対 象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：事前申込不要 ※託児をご希望の方は要事前問合せ
- 主 催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連 絡 先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

2/21 NPO夜学 第6回「NPOと出会う！N活！」

多種多様な分野のNPOを運営している方々をお迎えして、ワークショップを行います。就活、婚活など、いろんな【活動】がありますが、今年度ラストの「NPO夜学」で、あなたの想いにあったNPOと一緒に見つけてみませんか？

- 日 時：2月21日(土)16:30～18:30
※終了後に、参加者同士の交流を兼ねた懇親会を開催。一緒に活動する仲間を見つけるチャンスです！
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- ゲ ス ト：阿部 恭子氏(NPO法人World Open Heart理事長)
山崎 賢治氏(NPO法人ハーベスト代表理事)
青木 淳子氏(NPO法人仙台夜まわりグループ事務局次長)
- 対 象：社会人・学生で市民活動に関心のある方など
- 定 員：15名程度(申込先着順)
- 参 加 費：1,000円(税込)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
FAX・E-mailで申込みの場合、下記連絡先URLより申込書をダウンロードし、必要事項を記入
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先は、P8をご覧ください)
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyounpoyagaku_201502221.html

2/22 <Switch! みらい発見塾 ウィンターセミナー 就職活動解禁直前!!徹底サポート>

就活生必見のイベントです！！

え合う地域活動がひとつの地域だけにとどまらず、多くの地域に広まることを目指しています。大会当日は、審査員と一般来場者、協賛企業にも投票いただき、「いがす大賞」を決定します。

- 日 時：2015年2月15日(日)
- 場 所：せんだいメディアテーク 1 階
オープンスクエア(仙台市青葉区春日町2-1)
- 定 員：200人
- 参 加 費：出場者および一般観覧、ともに無料
- 申込方法：事前申込み不要、直接会場までお越しください
- 主 催：「S-1グランプリ 第2回いがす大賞」実行委員会事務局
- 連 絡 先：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
(担当：小野寺)
〒981-0932 仙台市青葉区木町16-30
シンエイ木町ビル1階
TEL：022-727-8730 FAX：022-727-8737
URL：http://www.clc-japan.com/

貸ギャラリーあります

～オリジナルの作品展を開いてみませんか～

当店の壁面ギャラリーを利用して作品展を開催される方を募集します。※ご利用にあたり、簡単な審査があります。詳細につきましては、お気軽にお問合せ下さい。

- 場 所：Cafe&Art Restaurant オリーブの風
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5 みやぎNPOプラザ 1階)
- 展 示 品：絵画・写真・版画・手芸品 など
- 費 用：無料
- 期 間：2015年3月～11月の間で約1ヶ月
- 主 催：NPO法人シャロームの会
(Cafe&Art Restaurant オリーブの風)
- 連 絡 先：担当：伊勢、牛澤
TEL：080-5731-4345(火～土 9:00～17:00)

電 話 相 談

婚外子差別にNO! 電話相談

2013年9月の最高裁違憲決定を受け、同年12月に民法の婚外子相続差別規定が撤廃されました。婚外子差別の源であった相続差別が撤廃されても、出生届や戸籍の続柄差別記載などの差別法制度はそのまま維持されています。私たちは差別撤廃に向けこれからも運動を続けていきたいと思います。わからないことや日々の思いなど、気軽にお電話ください!!

- 相談電話番号：042-527-7870

- 開設日時：各日14:00～20:00
2/26、3/26、4/23、5/28、6/25、7/30、
8/27、9/24、10/22、11/26、12/10
- 主 催：なくそう戸籍と婚外子差別・交流会
- 連 絡 先：TEL/FAX：03-3302-9219(夜間)
E-mail：kouryu2-kai@ac.auone-net.jp

イ ベ ン ト

2/14 ～家族と暮らせない子どものために～ 第6回「もうひとつの絆」フォーラム

親の死亡や育児放棄、虐待など様々な理由で家族と暮らせない子どもは全国で4万7000人を超えます。子どもたちにとっての実家族との「絆」、里親さんとの「絆」の大切さについて一緒に考えてみませんか。

- 日 時：2月14日(土)13:00～16:30
- 場 所：仙台市シルバーセンター 第1研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容：行政報告「里親さんを待っている子どもたち」
特別講演「ともに育てる里親養育」
トークセッション「私の里親家族」
- 対 象：社会的養護に関心のある一般市民
- 定 員：150名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先までFAXまたはE-mailで申込み
※託児希望の方は、お知らせください
- 主 催：NPO法人子どもの村東北
- 連 絡 先：〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30 角川ビル402号
TEL：022-748-6936 FAX：022-748-6931
E-mail：tohoku@soscvj.org

2/16 子どもソーシャルワーク研修

震災後の子どもからの電話には、いじめ、虐待、不登校などの増加が見られますが、最近では自殺、引きこもりなど、内容も深刻になっているのが気になります。また、そこには家庭の問題の影響も多く見られます。家庭、学校、地域と分断された中で見えにくくなっている子どもと家庭の問題を取り上げ、子どもを救うための連携を学ぶ「子どもソーシャルワーク研修」を行います。

- 日 時：【各回共通】10:30～15:45
東松島 2月16日(月)
小野市民センター 講義室
利府町 2月18日(水)
利府町コミュニティセンター 大会議室B

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2015.1.16現在)敬称略

●正会員 50名

●賛助会員 78名

<仙台市> ●猪狩慎一 ●庄司真希
●全国コミュニティライフサポートセンター
<白石市> ●村上千恵

会 員 募 集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
社の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

1月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

第3回 国連防災世界会議 パブリック・フォーラム 「市民協働と防災」テーマ館 ボランティア募集

3月14日(土)から開催される、第3回国連防災世界会議のパブリック・フォーラム「市民協働と防災」テーマ館では、事前準備から運営まで一緒に活動するボランティアを募集します!少しの時間でも構いません。「市民協働と防災」テーマ館に関わりたいという方のご応募、お待ちしております!

- 活動日時: 3月14日(土)~17日(火)のうち、参加希望日程を確認し、シフト制での活動予定(休憩有)
※事前準備は、参加できる日程でご参加可能
- 活動場所: 主に仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
※チラシ配布等は、仙台市内各地で実施します
- 活動内容: ・国連防災世界会議のパブリック・フォーラム「市民協働と防災」テーマ館の実施に向けた準備
・テーマ館開催時の運営サポート
・日本語以外の言語を話せる方には、簡単な通訳や案内などをお願いすることがあります
・その他、ボランティアチームでアイデアを出しあい、市民の関われる防災会議にしていきたいと思います
- 参加条件: 開催前に実施する事前説明会へ参加可能な方
※詳細は、下記URLをご確認ください
- 申込方法: 下記URLの申込フォーム、あるいはホームページから申込用紙をダウンロードし、FAXで申込み
- 募集主体: 防災からまちづくりを考える実行委員会
- 連絡先: NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
防災からまちづくりを考える実行委員会事務局(担当: 岡本)
TEL: 022-264-1281 FAX: 022-264-1209
E-mail: mokamoto@minmin.org
URL: <http://www.machinowa.net/volunteer>

こどもがつくるまち「Piccoli せんだい」 2015 運営サポーター募集!

子どもたちの社会体験・生活体験となる「Piccoli せんだい」の企画や運営、子どもたちのサポートに関わってくれる運営サポーターを募集しています!運営サポーターの活動内容は、以下の通りです。子どもが好き、企画することが好き、または挑戦してみたいなど、どんな方でも大歓迎です!

- 活動日時: 毎週木曜日(サポーター会議・予定)、
毎月第2、4日曜日(子ども会議・予定)
※こどもがつくるまち「Piccoli せんだい」2015
日時: 8月21日(金)、22日(土)、23日(日)を予定
会場: 宮城野区文化センター(予定)
- 活動内容: ・子ども実行委員による会議やイベントの内容などの企画・運営
・ホームページやFacebookの更新、サポーター

や参加する子どもの募集活動
・企業への協賛依頼、学校や協力団体との調整
・会計(助成金の申請など)

- 募集人数: 10名(男女不問)
※本番のサポーターは随時50名募集
- 参加費: なし
- 報酬: 活動経費本人負担、交通費は本番のみ要相談
- 託児: なし
- 申込締切: 3月末日
- 申込方法: 下記問い合わせ先に直接ご連絡ください
- 募集主体: NPOピコせんサポーター
- 連絡先: 担当: 細工藤
〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町14-15
TEL: 080-2823-0872 FAX: 022-296-6056
E-mail: piccolisendai@gmail.com
URL: <http://picosen.webcrow.jp/>

お知らせ

東日本大震災で被災したひとり親世帯で 病気と闘う子どもたちへの「入学祝い金」

この「入学祝い金」は、サムスン電子日本法人グループ3社(サムスン電子ジャパン、サムスン研修所、日本サムスン)の社員の皆さんの寄付をもとに、私たち石巻復興支援ネットワークが窓口となって、募集しお渡しするものです。

- 対象: 東日本大震災による被災等で避難生活を続けており、2015年4月に小学校に入学する児童がいる、以下の要件を満たす世帯
・母子家庭、父子家庭など「ひとり親世帯」
・小学校に入学するお子さんまたはきょうだい、小児慢性特定疾患等の治療を受けている、または医師の診断書がもらえる世帯
- 募集定員: 50人
※申込多数の場合は、より所得の低い方を優先
- 金額: 1人につき5万円
- 支払時期: 2015年3月中旬を予定
- 申込方法: 専用の申込用紙を下記URLからダウンロードし、必要事項を記入、添付書類を添えて郵送
- 申込締切: 2月28日(土)必着
- 連絡先: NPO法人石巻復興支援ネットワーク
〒986-0825 石巻市穀町12-18
石巻駅前ビル4階
TEL: 0225-23-8588 FAX: 022-774-1469
E-mail: info@yappesu.jp
URL: <http://yappesu.jp/news/2015/01/10068/>

「S-1グランプリ 第2回 いがす大賞」

この大会では、災害を受けた地域のいがす(活かす・イカシてる)取り組みを募集し、発表することによって、住民が支

NPO法人会計基準講座& NPOのための税務・労務講座

県内各地で
開催中!

3月末で年度末を迎えるNPOのみなさん、決算の準備は進んでいますか? 今、県内の各地で宮城県主催によるNPO法人会計基準講座が開催されています。本格的に決算を迎える前に、わかりやすい会計報告をするためのNPO法人会計基準のおさらいをしておきましょう!

また、NPOのための税務・労務講座もあります。税理士、社労士を雇っていない法人の担当者さん、一度業務を見なおしてみる機会を作ってみませんか?

詳細(各会場共通)

開催日程 下記をご覧ください

時 間 【会計基準講座】 ●入門編 10:00~12:00
●実践編 13:00~16:00
【税務・労務講座】 ■労 務 10:00~12:00
■税 務 13:00~16:00

参加費 無料 **定 員** 30名

対 象 県内のNPO法人やNPO法人の設立を検討している任意団体、個人の方など

申込方法 杜の伝言板ゆるるまでお電話を頂くか、下記申込フォームからお申込みください

【会計基準講座】

<http://goo.gl/LjqPn5>



【税務・労務講座】

<http://goo.gl/jFRtkb>



会計基準
講 座

2/9月
大河原

2/10火
登 米

2/16月
石 巻

2/18水
大 崎

2/23月
気仙沼

2/25水
栗 原

※各会場の詳細は杜の伝言板ゆるるまでお問い合わせください

税務・労務
講 座

2/12木
登 米

2/26木
仙 台

※各会場の詳細は杜の伝言板ゆるるまでお問い合わせください



主催: 宮城県 企画・実施: 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

NPO会計のことなら会計サポーターにお任せください!

NPO会計に通じた会計サポーターがあなたの団体を訪れ、あなたの団体がミッションに注力できるようにするためにはどうすればいいか一緒に考えながら、団体の状況に応じて会計事務をお手伝いします。



会計サポーターとは?

長年の企業会計・経理経験を持ち、NPO法人会計基準を学んだ有償ボランティアです

【サポート内容】

※税金関係の相談は除きます

- ・会計やお金の管理
- ・仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス
- ・会計ソフトの導入支援(初期設定~科目の整理など)
- ・活動計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポート(ほか)

【サポート費用】

1回あたり3時間まで無料

※派遣に要する実費交通費はご負担頂きます

【お問い合わせ】

会計サポーターに関する詳細についてのお問い合わせ、サポートのご依頼は杜の伝言板ゆるるまでTEL、メールにてお寄せください

